

「日中交流二千年 アジアをつなぐ美と精神」展 記念シンポジウム 観覧者募集

- 開催日時：2023年2月2日（木） 14：00～16：00（13：15開場）
- 場所：有楽町朝日ホール（東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F）

奈良県は、日中国交正常化50周年の節目にあたる2022年秋、友好提携を結んだ中華人民共和国・清華大学と共同で、日中交流の長い歴史をテーマとした展覧会を北京の同大学芸術博物館で開催しました。

本展では、奈良県立橿原考古学研究所が保管する県内出土の考古資料を中心に、日中交流の歴史を物語る作品108件、中国国内からは遣唐使などの古代日本にゆかりのある文物67件を出陳。高松塚古墳壁画や法隆寺金堂壁画を復元した高精細複製陶板を公開しました。両国の歩みの中で重要な位置を占めてきた奈良の魅力を再認識、新発見できる展覧会として大好評を頂きました。

この記念シンポジウムでは、本展の開催を通じて得られた知見や文化交流の成果について、奈良県知事はじめ、本展を企画した日中の関係者に語り合ってください。

報道関係の皆様におかれましては、告知につきましてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

プログラム紹介

主催者挨拶

- 奈良県知事 荒井 正吾
- 中国側主催者 *VTR放映（日本語字幕付き）

来賓挨拶

- 在日本国中華人民共和国大使館 公使参事官（文化担当） 陳 諤氏

成果報告

- 奈良県立橿原考古学研究所 主任研究員 坂 靖 <展覧会ダイジェスト動画放映>

基調講演

- 清華大学教授/清華大学芸術博物館常務副館長 杜 鵬飛氏 *VTR放映（日本語字幕付き）

パネルディスカッション

- テーマ 『日中交流の原点を探る』
- パネリスト 奈良県知事 荒井 正吾
奈良県立橿原考古学研究所所長/元文化庁長官 青柳 正規 *ファシリテーター
奈良県学芸政策顧問/京都大学名誉教授 根立 研介

入 場 無 料 ・ 要 申 込
(定 員 : 先 着 5 0 0 名)

※ プログラム及び出演者は予告なく変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

【お申込み受付期間】2023年1月16日（月）まで

参加は無料、事前申込制となります。詳細についてはホームページまたはチラシをご覧ください。

<https://www.pref.nara.jp/39170.htm>

【お問い合わせ先】「日中交流二千年」展 記念シンポジウム 係 TEL：03-5642-3765
(12/29・30、1/3・4を除く平日10：00～17：00)